

平成30年度 国際理解ワークショップ 進行シート

作成日: 2018 年 8 月 3 日

大学名: 上越教育大学 大学院

タイトル: 貿易ゲーム～世界の格差について考えよう～

1:本ワークショップの要旨

「貿易ゲーム」は、様々な世界の国の人になりきって、貿易を通して世界経済の動きを疑似体験する趣味レーションゲームである。生徒を8つの国のグループに分けて、国の利益を増やすことを目指して、製品を製したり、他国と交渉したりするゲームを行う。

このゲームを通して、世界の経済格差がなぜ生まれてくるのか、環境問題がなぜ深刻化したままなのかなど、世界の国々抱える諸問題に体験的に気付くことができるを考える。

2:本ワークショップの目的（目標、実現したいこと）

貿易ゲームを通して、貿易を中心とした世界経済の仕組みについて体験を通して理解を深める。そして、自由貿易やグローバル化が引き起こす様々な問題に気づくことを目標とする。

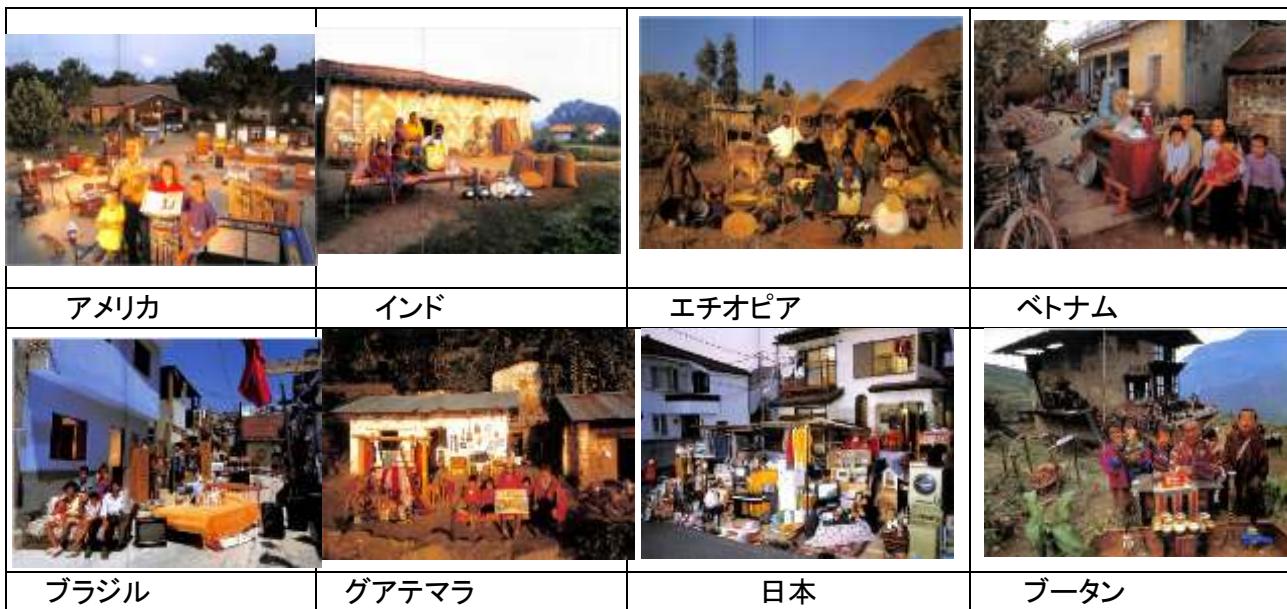
最終的には、世界の国々の経済格差や不平等な問題を解決するために、自分たちができる考えたり、日常生活で改善できることを実践したりしようとする姿を期待する。

3:本トピックをとりあげる理由

グローバリゼーションの進行により、巨額の資本が国境を越えて地球規模で動いた結果、経済格差や環境問題といった様々な問題を引き起こした。国境のないボーダレス経済では、財、サービス、資本が自由に動くため、経済が発展し、技術革新が進む。先進国では、発展途上国への工場移転などにより産業の空洞化や雇用の減少、国内格差の拡大が起こった。一方、発展途上国では、先進国の大企業が経済的主導権を握り、中小企業や農業などが圧迫されている。

このような経済の仕組みやそれが引き起こす問題は、社会科の学習の中で教科書を用いて経済や貿易について学習するだけでは、実感をもって子どもたちが理解することは難しい。そこで本活動では、実際に自国の利益を増やすことを目指して実際に子どもたちが製品を作ったり、出荷したり、資源や情報を求めて他国と交渉を始めたりする活動を行う。経済活動を体験することで、経済の動きや格差が生まれる原因などについて、実感を通して学ぶことができると考える。

資料1 貿易ゲームで扱う国々の写真 (出典『地球家族』)



資料2 ワークシート

4:活動過程 (使用時間: 90分 参加人数: 25~40人)

過程	活動内容	具体的な発問・説明・動きなど	ねらい	使用する教材・備品	予想される反応、その他注意事項
導入 <u>(15分)</u>	1. 講師の自己紹介 2. 国の場所当てゲーム (世界地図のPPTを使って場所を当てる)	「私は～です。 趣味は～です。」 「これはどこの 国でしょう。」	・ファシリテーターに慣れ親しむ。 ・貿易ゲームで扱う国を認識する。	・国々の写真 (掲示用) ・ワークシート	楽しそうだな。 がんばろう。 世界にはいろいろな国があるんだな。
展開 <u>(55分)</u>	1. 国の説明(5分):国 の名前や位置、国旗など簡単な情報だけ提示 する。 2. ルール説明(5分): 国の分担、銀行の設 置、できるだけ多くお 金を稼ぐために動く、な ど。 3. 実際の活動(40分): 活動中にファシリテーターは「何してもいいんだ よ」と言って自発的な行 動を促したり、シールに 関する情報を与えたり する。 4. 結果発表(5分):どの 国が一番稼いだか黒板 に書き出す。	「国ごと(グループごと)に封筒 を配ります。」「封筒の中に入 っているものを使って、できる だけ多く稼いでください。」「一番稼いだ国 はどこでしょ う？」	・利益を生むこ とを目指して貿 易ゲームをす る。	・角形2号封 筒 ・鉛筆 ・白紙(A3,A 4) ・ハサミ ・分度器 ・定規 ・コンパス ・シール ・磁石 ・厚紙(白 紙、 A4) ・黒板	・ルールを理 解できない児 童(グルー プ)に対し て支援をす る。 ・必要なもの があったら他 の国と交渉し てもよいこと を伝える。

発展 <u>(10分)</u>	<p>1. 貿易ゲームをしてみて、どんな気持ちになつた?→ワークシートに書いてから話し合いをする</p> <p>2. 多く稼いだ国はたくさん文句をと言われたけど、どうしたら文句を言われなくなると思う?</p> <p>3. どうすればこういった不平等や格差はなくなるだろうか?</p>	<p>「ゲームをしてみて気づいたことはありますか。」「ほかの国と交渉しているときはどんな気持ちでしたか?」「文句を言わてどんな気持ちでしたか?」「どうすればこう行った問題はなくなるでしょう?」</p>	<p>・ゲーム中に気付いたことや、感じたことを共有することによって、豊かな国と貧しい国の感じることを知る。</p> <p>・経済の不均衡がなぜ起こるのか体験を通して理解する。</p>	・黒板	<p>・ゲームをしているときに自分はどんな気持ちだったかをしっかりと振り返れるようになる。</p> <p>・友達の意見をしっかりと聞いて共有できるようになる。</p>
まとめ <u>(10分)</u>	<p>ムヒカ大統領のスピーチ(10分) 参考:「ムヒカ大統領のスピーチ(全編)」(YouTubeよりhttps://youtu.be/pmEoZ4r21Es) (スピーチの原稿も配るようにする)</p>	<p>「ムヒカ大統領はどのようなことを考えていただろうか?」「自分たちが明日からできることを具体的に考えてみよう。」</p>	<p>・ムヒカ大統領の考えを理解する。</p> <p>・世界をよりよくするために自分ができることを考えようとする。</p>	・パソコン ・プロジェクター	<p>・世界の格差が少しでも解消されるように、自分ができることを具体的に考えさせる。</p>

5:会場のセッティング

- ・生徒を8つのグループに分けて、机を配置する。
- ・世界銀行のコーナーのために、生徒と別に机を準備する。
- ・ゲームの説明や国当てクイズができるように、プロジェクターとPCを準備する。

6:使用する教材

- ・鉛筆(HB, 36本)
- ・A4白紙(500枚)
- ・ハサミ(12本)
- ・分度器(8つ)
- ・定規(15cm, 18本)
- ・コンパス(6本)
- ・シール(1部)
- ・磁石(3セット)
- ・角形2号の封筒(48)
- ・A4白地の厚紙(200枚)
- ・A3白紙(16枚)

7:参考資料

- ・『地球家族 世界30カ国のふつうの暮らし』マテリアルワールドプロジェクト、ピーター・メンツェル、TOT O出版、1994
- ・『新・貿易ゲーム 一経済のグローバル化を考える』(2009) 開発教育協会